

第43号議案

幼稚園教育職員の給与に関する条例施行規則の一部を改正する規則

上記の議案を提出する。

令和5年9月27日

提出者 文京区教育委員会

教育長 加藤 裕一

文京区教育委員会規則第十二号

幼稚園教育職員の給与に関する条例施行規則の一部を改正する規則

幼稚園教育職員の給与に関する条例施行規則（平成十二年三月文京区教育委員会規則第三号）の一部を次のように改正する。

別記様式第二号の一を次のように改める。

別記様式第2号の1 (第8条関係)

(表)

扶 養 ・ 住 居 届

		年 月 日提出		職 員 番 号															
文京区教育委員会 幼稚園教育職員の給与に関する条例第12条及び幼稚園教育職員の住居手当に関する規則第3条の各規定により、その実情を届け出ます。		所属										氏名							
		住所																	
届 出 の 種 類 等						届 出 事 由						届 出 事 由 発 生 年 月 日			受 理 年 月 日				
□扶養届												年 月 日			年 月 日				
□住居届 □世帯主 □これに準ずる者												年 月 日			年 月 日				
世帯の構成状況(世帯全員を記入、別居を含む)	フリガナ		本人との続柄	生 年 月 日	同 居 居 別	扶 養 手 当 の 対 象 に 関 する 事 項	他からの手当受給の有無		職 業 等	年 間 収 入	備 考								
	氏 名						扶 養 手 当	住 居 手 当											
	1	本人				有 ・ 無													
	2				同・別	する・しない	有 ・ 無	有 ・ 無											
	3				同・別	する・しない	有 ・ 無	有 ・ 無											
	4				同・別	する・しない	有 ・ 無	有 ・ 無											
	5				同・別	する・しない	有 ・ 無	有 ・ 無											
	6				同・別	する・しない	有 ・ 無	有 ・ 無											
7				同・別	する・しない	有 ・ 無	有 ・ 無												
住 宅 の 実 情	種別	持 家	職 住 員 宅	職 住 務 宅	官 舎 ・ 社 等	公 団 ・ 公 社 住 宅	公 住	営 宅	借 アパート	家 賃 借 り	親 の 族 家	そ の 他 ()	居 住 開 始 年 月 日	備 考					
	名義	自 己 (共 有)																	
	他																		
扶 養 手 当 内 訳	配 偶 者 P S	欠 第 一 配 子	2人まで	そ の 他	共 同 扶 養	年 月 から支給			2・3・4・5・6・7										
						継 続			2・3・4・5・6・7										
						年 月 から停止			2・3・4・5・6・7										
住 居 手 当 内 訳	区 分 コード					年 月 から 支給・継続・停止													
上記のとおり認定する。 年 月 日						給 与 担 当						所 長							
						係 長	係 員					所 属 長		係 長					
職 氏 名																			

※ 裏面記入上の注意をよく読んで、太枠内のみ記入してください。

記入上の注意

- 1 「届出の種類等」欄は、それぞれ該当する□に \surd 印を付すこと。
- 2 「届出事由」欄には、手当を受ける事実の生じた理由又は手当を受ける事実を欠くことになった理由（例えば婚姻、出生、満60歳以上、離婚、死亡、就職、収入の変動、住居の異動、世帯主の変更、公舎等入居、他からの住居手当受給、新規届出等）をそれぞれ記入すること。
- 3 「世帯の構成状況」欄には、同居又は別居にかかわらず、生計を一にする者を全て記入すること（今回の届出により手当の対象に該当しなくなる者についても記入すること）。

「扶養手当の対象に該当」欄には、以前から扶養手当の対象になっている者又は今回の届出により新たに対象に該当する者については、「する」に○印を付すこと。また、以前から扶養手当の対象となっていない者又は今回の届出により手当の対象に該当しなくなる者については、「しない」に○印を付すこと。

「他からの手当受給の有無」欄中「扶養手当」欄には、届出職員以外の者が扶養手当又はこれに相当する給与を受ける対象に該当する被扶養者については、「有」に○印を付すこと。その他の者については、「無」に○印を付すこと。

「他からの手当受給の有無」欄中「住居手当」欄には、住居手当又はこれに相当する給与を受けている者については、「有」に○印を付すこと。その他の者については、「無」に○印を付すこと。

「職業等」欄には、勤務先名等を記入すること（世帯の構成員に特別区に勤務する職員がいる場合は、特別区名を記入すること。）。

「年間収入」欄には、勤労所得だけでなく、資産所得、事業所得その他の収入があれば、これらの合計額を記入すること。
- 4 「住宅の実情」欄は、該当するところに○印を付すこと。

付 則

この規則は、令和五年十月一日から施行する。

幼稚園教育職員の給与に関する条例施行規則（平成十二年三月文京区教育委員会規則第三号）新旧対照表

改正後（案）	現行
<p>第一条～第二十条（略）</p> <p>別記様式第2号の1（第8条関係）（略）</p> <p>付 則</p> <p>この規則は、令和五年十月一日から施行する。</p>	<p>第一条～第二十条（略）</p> <p>別記様式第2号の1（第8条関係）（略）</p>

別記様式第2号の1 (第8条関係)

(表)

扶 養 ・ 住 居 届

		年 月 日提出		職 員 番 号											
文京区教育委員会殿 幼稚園教育職員の給与に関する条例第12条及び幼稚園教育職員の住居手当に関する規則第3条の各規定により、その実情を届け出ます。		所 属				氏 名									
		住 所													
届 出 の 種 類 等		届 出 事 由				届 出 事 由 発 生 年 月 日		受 理 年 月 日							
<input type="checkbox"/> 扶養届						年 月 日		年 月 日							
<input type="checkbox"/> 住居届 <input type="checkbox"/> 世帯主 <input type="checkbox"/> これに準ずる者						年 月 日		年 月 日							
世帯の構成状況(世帯全員を記入、別居を含む。)	フリガナ	本人との続柄	生 年 月 日	同 居 居 別の別	扶 養 手 当 の 対 象 に 該 当	他からの手当受給の有無		職 業 等	年 間 収 入	備 考					
	氏 名					扶 養 手 当	住 居 手 当								
	1	本人				有 ・ 無									
	2			同・別	する・しない	有 ・ 無	有 ・ 無								
	3			同・別	する・しない	有 ・ 無	有 ・ 無								
	4			同・別	する・しない	有 ・ 無	有 ・ 無								
	5			同・別	する・しない	有 ・ 無	有 ・ 無								
	6			同・別	する・しない	有 ・ 無	有 ・ 無								
7			同・別	する・しない	有 ・ 無	有 ・ 無									
住 宅 の 実 情	種別	持 家	職 員 住 宅	職 務 住 宅	官 舎 ・ 社 等 住 宅	公 団 ・ 公 社 住 宅	公 住 宅	借 家	借 アパート	間 借 り	親 の 家	族 家	そ の 他	居 住 開 始 年 月 日	備 考
	名義	自 己 (共 有)													
	他														
扶 養 手 当 内 訳	配 偶 者 P S	次 第 一 配 子	2人まで	そ の 他	共 同 扶 養	年 月 から 支 給		2・3・4・5・6・7							
						継 続		2・3・4・5・6・7							
						年 月 から 停 止		2・3・4・5・6・7							
住 居 手 当 内 訳	区 分 コード	円				年 月 から 支 給 ・ 継 続 ・ 停 止									
上 記 の と お り 認 定 す る 。 職 氏 名	年 月 日				給 与 担 当				所 長						
	係 長		係 員				所 属 長		係 長						

※ 裏面記入上の注意をよく読んで、太枠内のみ記入してください。

記入上の注意

- 1 「届出の種類等」欄は、それぞれ該当する口に \surd 印を付すこと。
 - 2 「届出事由」欄には、手当を受ける事実の生じた理由又は手当を受ける事実を欠くことになった理由（例えば婚姻、出生、満60歳以上、離婚、死亡、就職、収入の変動、住居の異動、世帯主の変更、公舎等入居、他からの住居手当受給、新規届出等）をそれぞれ記入すること。
 - 3 「世帯の構成状況」欄には、同居又は別居にかかわらず、生計を一にする者を全て記入すること（今回の届出により手当の対象に該当しなくなる者についても記入すること。）。

「扶養手当の対象に該当」欄には、以前から扶養手当の対象になっている者又は今回の届出により新たに対象に該当する者については、「する」に○印を付すこと。また、以前から扶養手当の対象となっていない者又は今回の届出により手当の対象に該当しなくなる者については、「しない」に○印を付すこと。

「他からの手当受給の有無」欄中「扶養手当」欄には、届出職員以外の者が扶養手当又はこれに相当する給与を受ける対象に該当する被扶養者については、「有」に○印を付すこと。その他の者については、「無」に○印を付すこと。

「他からの手当受給の有無」欄中「住居手当」欄には、住居手当又はこれに相当する給与を受けている者については、「有」に○印を付すこと。その他の者については、「無」に○印を付すこと。

「職業等」欄には、勤務先名等を記入すること（世帯の構成員に特別区に勤務する職員がいる場合は、特別区名を記入すること。）。

「年間収入」欄には、勤労所得だけでなく、資産所得、事業所得その他の収入があれば、これらの合計額を記入すること。
 - 4 「住宅の実情」欄は、該当するところに○印を付すこと。
-